

令和元年度第2回さぬき市行政改革推進委員会 会議要旨

開催日時	令和元年12月17日(火) 午前10時00分～午前11時45分
場 所	さぬき市役所3階 302会議室
出席者	<p>[委 員] 計9名 奈良委員(会長)、松本委員(副会長)、大部委員、金本委員、木村イツ子委員、木村英司委員、高嶋委員、田中委員、津村委員</p> <p>[事務局] 計4名 総務部：向井部長 総務部政策課：谷課長、多田副主幹、多田主査</p>
欠席者	<p>[委 員] 計1名 眞鍋委員</p>
傍聴者	1名
次 第	<p>1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 行政改革実施計画進捗状況(平成27年度～平成30年度)に関する意見について (2) 提言内容について (3) その他 5 その他 6 閉会</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 意見聴取票の集約について ・資料2 行政改革に関する提言書(抜粋)(平成31年3月) ・資料3 行政改革に関する提言書(抜粋)(平成30年3月) ・(当日配布)住基人口集計表(支会別)

開会	
議 事	(1) 行政改革実施計画進捗状況（平成27年度～平成30年度）に関する意見について
会 長	<p>前回の会議でお願いしました意見聴取票においては、たくさんの御意見ありがとうございました。追加したいことなどがあれば、平成27年度から昨年度に終わった行政改革実施計画の進捗状況の内容について、まずは御意見を頂きたいと思います。</p>
委 員	<p>私は行政改革の2大柱があると思います。1つは「意識改革」です。行政に携わっている市の職員の意識改革。支障のある言い方になるが「親方日の丸」のような、今まで通りしていたら良いといったことでは行政改革ができません。市民の理解も得られないといけないので、もう1つは「見える化」です。この2つの要素が大切です。「見える化」を言い換えれば、「分かりやすさ」ということです。前回の会議で、私はカタカナ言葉が多いといけないとか、日常生活で使わないことばは控えた方がよいというのは、この「分かりやすさ」ということから言いました。「見える化」は理解しやすさとも言えます。1つ目の「意識改革」は国会でよく言われている「身を切る改革」までいけないといけない。もう1つは市民に向かっての「見える化」が大切だと思います。</p> <p>参考までに伝えると、JALが2兆3221億円の負債を抱えて、戦後最大の倒産となりました。ところが、会長に着任した稲盛和夫さんが立て直すためにやったことは、経営の哲学化です。どんぶり勘定だった経営を、部門別採算性にしました。また、意識改革を図って、一般の人にも分かるような改革をして、「見える化」をしました。私はこの再生を行政改革は見習うべきだと思います。前回に色々と意見を述べたのは、これらの発想からのものです。</p>
委 員	<p>先ほど言われていた「意識改革」というのは、この行政改革が始まってからずっと職員、また市民もそういう目で見てきました。合併したときは夢がありましたが、財政力がないことが分かり、これでは何もできないなと分かりました。しかし、何もないところから、行政改革が始まったと思います。</p> <p>先ほど言われた御発言は十分に分かっていますが、行政改革を強く言うと、職員が責任を問われることなどを恐れて、委縮してしまう傾向につながるのではないかと思います。</p> <p>そこで、意識改革は今後も十分に取り組んでいくことが大切ですが、職員の発想も大切にされた方が良いでしょう。どこかの町がうまくPRして発展しているのをニュースや新聞などで見ますが、それはある職員の発想によるものだと思います。職員の発想を大事にして、上司が取り上げるというような柔らかさのある心遣いも大きな力になるのではないかと思います。他の自治体に会議で行っても、まだまだ行政は縦割りです。この縦割りを意識改革でなくしたら、一番まとまった行</p>

事務局	<p>政改革ができるということをこの頃つくづく思っています。私は行政改革には、柔らかさ、まとまりが大切で、何か発想できるような職員研修を実施してほしいです。</p> <p>お1人目の御意見は本当に基本的なお話でして、前例踏襲であるとか、その日が済めば良いというような発想がかつてはあったと思いますが、そういった意識が現在は基本的にはなくなっていると思います。行政というのは、かつては、国が決めたことを県が聞いて、それから市がやるというような言われたことをしていれば良いというような状態でしたが、段々と権限委譲で、市独自でやる事務といったものが非常に増えてきました。当然、戸籍や税金などはやはり例規に基づいてやっていますが、多くの施策は市独自でやっていますので、住民の皆さんのニーズを聞いた上でより良くしていこうという意識でやっています。ただ市民の皆さんに、そのように見えていないのであれば、当然改善の余地があるということです。</p> <p>お2人目の御意見は、やはり組織として現場を知る下の者が発想を出してきても、上司が今まで通りで良いではないかと言うようなことでは前進しないので、組織の中で話し合いができて、形にして、少しでも良くしていこうという雰囲気作りをしていきたいと思っています。また、そういうことができるように、現在、人事評価制度も含めて、それぞれの職員が今年どんなことを目標にして、常に上司と部下が話し合いながら確認していくといったことをやっています。</p> <p>頂いたのは大切な御提言だと思いますので、参考にさせていただきます。</p>
委員	<p>資料1の進捗状況についての【全体的な御意見】に記載されてある、「翌年度の目標を変更、修正していかないと、進捗しないし、計画を遂行する職員もモチベーションが上がらないと感じた。」は、自分の意見ではないが、同じ思いです。市民サービスとか、人事評価とかは、行政改革の項目としては、あまりいらぬのではないかと思います。</p> <p>追加項目として、随意契約についてお聞きしてみたいです。</p>
事務局	<p>随意契約というと、入札によらない契約が基本になり、市の裁量が大きいという印象もあるかとは思いますが。これについては、地方自治法において、金額であれば、何円以下は随意契約で良いとされている部分があります。例えば、工事であれば、130万円以下、委託であれば50万円以下とか定めがあります。</p> <p>それ以外は例えば、緊急性がある場合、その業者でないとどうしてもできない場合など、非常に限定的なものは随意契約ができるとされています。</p>
委員	<p>民間では、小さなものでも見積を取ります。</p>
事務局	<p>例えば金庫か何かを買って、その鍵が壊れたので直すといったような、その業</p>

	<p>者でないとできないような場合は、その業者1社で契約することもあります。しかし、基本的には、2社、できれば3社以上の見積を、随意契約でも取るようにというような規則があります。なおかつ、随意契約をしたものについては、毎月、担当課が一覧表を作成し、市長まで報告をしており、チェックできるような仕組みを作っております。随意契約については、監査からも指摘があるので、できるものは入札で行っております。</p>
会 長	<p>金額でいうと何%ぐらいありますか。</p>
事務局	<p>件数で言えば、10%ぐらいは超えています。金額でいうと、何千万というような随意契約はありません。</p>
委 員	<p>他の委員から、行政改革の始まったときから、意識改革ということを前面に掲げて来たと聞きましたが、年数が経つにつれて、緩みが出てきているのではないですか。あるいは、資料から見ても分かるように、課によってばらつきがあるのではないですか。</p> <p>市民にも、市職員にも非常にショッキングなデータがあるのでお示ししたいです。これは権威ある団体の公表によるものです。今2019年ですが、2020年になると、女性の半分は50歳を超えます。特に20、30代の出産適齢期の人数が極端に減ります。さぬき市も例外ではありません。だから、少子化が進みます。そして、2026年には、認知症患者が700万人を超えます。2033年には、3戸に1戸が空き家になります。2040年になると、地方自治体の半分が消滅します。夕張市のようになります。市民が転出して、ゴーストタウンになってしまいます。2042年には、65歳以上の高齢者数はピークを迎えます。こういう状態を踏まえて行政改革をしないといけません。</p>
委 員	<p>人事評価制度について、10年ぐらい前から、大企業を中心に、日本の文化に合わないの見直されています。さぬき市に人事評価制度を導入するならば、よほど慎重にしなければならないし、欠点を補うようにしなければいけないと以前提言をしました。理由は、ごますりが増えたり、本音を言わなくなったりして、おべんちゃらが通ってしまうようになり、人事評価の本来の意味が崩れる問題となるからです。それでも、さぬき市が人事評価制度に踏み切った大きな理由をお聞きします。</p>
事務局	<p>人事評価制度は国の地方公務員法で導入するよということ、法律で決められております。市の条例の中にも、ボーナスの支給率にも反映をさせるよとあります。基本的に、人事議評価制度をどのように活用しているかは地方自治体それぞれですが、導入していないところはありません。大企業では人事評価制度で大きな成果が出ておらず、見直しをしている状況ではあるかと思いますが、</p>

<p>委員</p>	<p>公務員の中で人事評価制度は必須の制度ということで導入しております。委員が言われたように色々な問題があるとは聞いておりますが、基本的には能力判断で、本人のやる気や勤務態度という部分と、業績評価とあって、今年1年かけて何をどこまでするのか、そのプロセスはどうなっているのかというような業績を評価するといった2つの手法を使っています。</p> <p>基本的には、上司である課長が評価をします。それを偏りが無いかどうかについて、部長が内容を確認して、二段階の評価にするとしたことになっています。おべんちゃらやごますりは、基本的にはないと考えております。</p> <p>行政改革というのは、行政側だけがしても限度があります。市民の方も、行政が何をしたいか、効果も含めて、理解をする気持ちをもたないといけないと思います。今どちらかと言えば、市にあれもこれもお願いといった形になっているのではないかと思います。市民が協力しようという態度が非常に重要ではないかと思えます。</p>
<p>議事 委員</p>	<p>(2) 提言内容について</p> <p>三木町と比べて、特別職の給料が高いという御指摘ですが、さぬき市の市長、副市長、教育長は今も給料を返納していますか？</p>
<p>事務局</p>	<p>今はしていません。</p>
<p>委員①</p>	<p>観光という1つの分野になっていますが、地方活性化、地方再生の目玉は、最後は間違いなくグルメです。例えば、広島県は日本三景の一つがあるからといってあれほどの観光客は来ません。もみじ饅頭というグルメがあるからです。若い人向けに、当初の餡子だけでなく、クリームやチョコ味などがあり、多種多様となっています。お土産で買ってもらえるようなものがないと、地方活性化はできません。</p> <p>さぬき市にそういった県外の若い人が、喜んで食べよう、お土産にしようというグルメがあるかというのと、今から作っていかないといけません。</p> <p>もしそれが無理というならば、下関にある関門海峡を眺められて、何でも食べられて、賑わっているような施設を造るなど、さぬき市も思い切ったことをしないと、通過まちで終わります。例えば、道後温泉に行く途中で、さぬき市があったなという程度で通過されて終わりです。平賀源内記念館があっても、わざわざ立ち寄ろうという県外の人はいません。さぬき市でないと食べられないグルメ、買えないお土産がないと活性化はしません。</p>
<p>委員②</p>	<p>確かにグルメは若い人向けの活性化につながっていると思います。大串半島も活性化しようと、ずっと施策が行われてきました。</p>

	<p>平賀源内記念館についてですが、県外からの人が多い状況です。平賀源内先生ほど県外で知名度がある人は他にいないと思います。東京都の浅草にお墓がありますが、商店街の人が3年前から源内先生を中心にして活性化を図ろうとしています。関心をもっている人はいるので、そこから掘り下げていくことが大切です。</p>
会 長	<p>お土産といえば、長い名前のものでありました。R-1というワインも聞きます。市としての何か対策があれば教えてください。</p>
事務局	<p>食というのは、人を惹きつけ、知名度アップを図るのに大事な分野です。さぬき市の農産物に着目すれば、ブドウもあるし、自然薯、ミニトマトと色々な特産品があります。二次製品でいえば、それを活かしたお菓子、だんごなどがありますが、残念なことに全国的に知名度があるものはありません。しかし、素材がないわけではないので、今後素材をつなげたり、アイデアを出したりしてPR、開発していきたいです。</p>
委 員	<p>各地域には、どじょりんピック、自然薯まつり、グルメに関するイベントがあります。グルメには人を呼び寄せる魅力があると思います。うまいもんまつりのように、市内あちこちにあるグルメを集めて、地域の特色を出せる大きなイベントを打ち出してはと思います。</p>
委 員	<p>県外に行って、平賀源内を見ると、やはりすごいと思います。しかし、さぬき市内の山手の人は、平賀源内のことを「源内さんは海手の人だ」というような認識をもっています。そうではなく、さぬき市一本として考えることが必要です。5地区の特産、特色はありますが、さぬき市に来たら平賀源内一本で推してはどうかと思います。市の職員で、平賀源内に大変夢中な人がいれば、PR、活性化につながるような気がします。観光協会が法人化したので、「さぬき市といえば平賀源内さん」というように推し進めてほしいと強く思います。さぬき市といえばこれというようなものを、もっとPRしてほしいです。</p>
委 員	<p>ふるさと源内祭は今年度からなくなります。しかし、さぬき市といえばこれというような資源を見落とさないで、大きなものを1つ観光協会に頑張ってもらいたいです。</p>
会 長	<p>観光の分野についてお話がたくさん出てきました。観光についてでも、他のことについてでも何か御意見はありませんか。</p>
委 員	<p>今までの話を聞いていると、結局、さぬき市は発信力が弱いということです。市がすること、観光協会がすることを押し付け合うのではなく、お互いが協力していかなないと消滅都市になります。津田の松原SAでは、源内だんごを売ってい</p>

委員	<p>ました。あれだけでも不特定多数の人が来ますから、PRになります。まず、さぬき市は京阪神の人に知ってもらうことが大切です。</p> <p>ゴルフ場に行くと、外国の人がたくさん来ています。表記も3か国語でされています。冬になると、北海道からたくさん人が来ますが、高松市に宿泊といった、さぬき市はやはり素通りのまちになっています。もう少し呼び込めるように発信力を強めてはどうか。</p>
委員	<p>大串半島の活性化については、市民向けですか。市外に向けてですか。</p>
事務局	<p>市民向けというよりは、発信力の中心、地域としての魅力を高めて、色んな人に注目してもらい、来てもらえるような観光の核となる施設ができないかということで、議論がスタートしています。</p>
委員	<p>県外からリピーターが来る施設、地元の人に行く施設を造ってほしいです。ディズニーランドは約7割がリピーターで、中身をどんどん改良しています。また行きたいと思わせる魅力が大切だと思います。</p>
委員	<p>市に移住してきた人の交流会ですが、広報紙の一面で見ました。県内5地区、三豊市でも、香川県が7月に移住者交流会をしたそうです。移住者が全国の中でも香川県を選んだ理由というのが、自然が豊かで災害が少ない、瀬戸内国際芸術祭がある、空き家バンクのサイトが充実している、うどん店が多い、都会と田舎の間ぐらいの落ち着いた雰囲気が良い、学校の規模など子育てしやすい環境といったことが挙げられていました。</p> <p>その反面で、ドライバーの運転マナーが悪い、交通機関が不便といったことが挙げられていました。</p>
事務局	<p>県と市町で協議会を作って、移住者交流会を行っています。市主催の交流会はありませんが、移住後の生活支援、これから移住しようとする人への情報発信を含めて、市に関心を持ってもらえるような取組を引き続き行って行きたいです。</p>
会長	<p>仁尾の父母ヶ浜は、ちょっとしたきっかけで全国的に有名になり、日本で一番の景色になりました。大串半島も毎年当会議で取上げられています。大串にも有名になる素地はあると思います。若い人にインスタグラムなどで朝日の風景などを発信してもらえると良いと思います。行政からではなく、一般の人からの発信が良いものがあります。何らかの仕掛け作りが大切です。</p>
委員	<p>歳入の確保のふるさと納税についてですが、現在は返礼品で選ばれているが、例えば市で高齢者タクシーを買うといったことに寄附をした結果、返礼品を選ぶ</p>

事務局	<p>といった、地域のためになっているといったことを感じてもらえた方が、本当のふるさと納税の意味に沿うのではないのでしょうか。</p> <p>今後は足りない財源をふるさと納税で補えるような方法を取れば、現状維持をしたり、グルメで活性化を図れたりするのではないのでしょうか。お金を使わずに、他と違う発信の仕方ができるのではないのでしょうか。返礼品の掘り起こしなど、今後の展望はどうなっていますか。</p> <p>ふるさと納税は元々「さとふる」に委託していて、その後、「楽天」にも委託しました。来年からは、最大サイトの「ふるさとチョイス」も利用して、発信していこうとしています。返礼品の掘り起こしについて、返礼品は農産物が中心に、ブドウが大変好評でした。さぬき市からも返礼品の掘り起こしを様々な方に呼び掛けていますが、十分な結果に至っておりません。地域に隠れた返礼品があるような場合は教えてほしいです。また事業者の方にもPRにつながるとしてもらえるようにしていきたいです。</p> <p>ふるさと納税にもう一つ大事なのが、元々は自分の住んでいる以外の地域を応援しようという思いが発端になっていることです。こんなことをしたいので寄附をお願いしたいと前面に出していきたいとは思っていますが、まずは寄附を集めようということが先走っている状態です。今回の大串半島の活性化の事業でも、ふるさと納税を活用してはどうかということも言われていますが、それに限らず、福祉タクシーなど、いろいろなことで皆さんに応援してもらえるようにPRしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>お米も返礼品にありますか。</p>
事務局	<p>入っています。お米の返礼品は全国的に人気です。</p>
委員	<p>観光施設、全国から人が集まるような、何回も行きたくなるような施設を造ってほしいと思います。大串半島は駐車場が少なく交通の便が悪いですが、瀬戸内国際芸術祭で足を延ばしてもらえるようなPRができればと思います。また、港を整備する方法も視野に入れてほしいです。</p>
委員	<p>前回人件費についてお聞きしましたが、市広報紙11月号に職員給与は県などと比較して、同じくらいだという表が出ていました。しかし、各委員の席上に配布させていただいた「香川縣市町村別 年収・収入ランキング（総務省発表データより、香川県の市町村年収ランキングを掲載）」では、香川県の市町ではさぬき市が1位と出ています。本日、同様に配布した「2014年度の香川県財政力指数ランキング」では、香川県内のさぬき市の財政力指数を見ると、下から5番目です。この状況で、職員給与が県内トップで、高松市より上位ということかと思えます。</p>

事務局	人事担当はこのサイトを見たことがないと言っていました。年齢層が高い職員が多ければ、給与の平均は上がります。国家公務員と比較したラスパイレス指数では、高松市では101、さぬき市では99ぐらいです。お配りいただいた資料はどのような形で計算しているのか不明ですが、さぬき市の給与は、年齢などを加味すると、8市でいうと真ん中に位置します。
委員①	特別職の報酬も、三木町とずいぶん違います。
委員②	特別職の報酬委員会に出席したことがありますが、全国の同規模の自治体と比較して数値を出して計算しており、それほど高額な報酬ではなかったです。
会長	給与、特別職報酬など、他自治体との比較結果が分かる資料を次回お願いできますか。
事務局	ラスパイレス指数、県内自治体と比較した資料を用意します。
委員	財政力指数に給与や特別職報酬が見合っているかということを示してほしいです。
委員	共通理解として、さぬき市は通過のまちではだめだということができたと思います。先行投資でも、既存の施設を拡充するのも良いので、そこに行くと、温泉、カラオケなどがあり、宿泊もできるという施設がないと、このまま通過まちで終わると思います。例えば、地理的に中心である春日温泉を拡充すれば、活用できます。八十八箇所参りの人がゆっくりできるようになります。通過まちでなく宿泊してもらえんと思います。
委員	議員報酬について、この会議において、政務活動費について質問が出たことがありました。回答は事実上、ノーチェックということでした。この状態は前進しましたか。
事務局	現在はチェックしています。
委員①	公有財産について、今売ったら安いからというだけでなく、損してでも先行投資のような企業的発想を取り入れないと、さぬき市は立ち上がれないと思います。 三木町は生き生きとしていて、さぬき市から若い人が三木町にかなり流出しています。例えば、サンサン館みきは、たくさんの講座があります。長尾のツイナルの方が先にできたのに、講座があまりありません。

委員②	三木町は子育て政策が手厚いので、転出していく人が多いのだと思います。
委員①	発信力についてですが、県庁に行った際、三木町と東かがわ市の広報紙を見ました。さぬき市と比較して、ページ数は多くないですが、文字が大きくてカラーで読みやすかったです。見やすいと発信力があります。見える化で、住民に発信するには、まず広報紙の見直しが大切だと思いました。
委員②	市の広報紙は、情報がたくさん詰まっているとは思いますが、字が小さくなって読みにくくなりました。ぱっと見て分かるようなものが良いと思います。
会長	観光の面やさぬき市の発信力についての御意見が全体として多いようですが、他に御意見はありますか。
委員	子育てについて、提案をさせてもらいましたが、アレルギーに悩む子どもがとても多いです。アレルギーで食べられない給食が出る場合には、子どもはどのように対応しているのか。小、中学校でもアレルギーに対応できることをPRすれば、移住につながると思います。
事務局	給食は、市内2か所の給食センターで調理をしています。アレルギー対応は設備的な問題でできないので、アレルギー食品が分かるような、通常のものではない献立表を作成し、該当児童に渡しています。家庭の方で確認し、代わりのお弁当を用意してもらっている状態です。保育園のような各施設に調理場があればアレルギー対応ができますが、現在はできる限りの対応をしている状態です。
委員	果汁がつくだけでも大変なことになる子もいて、保育所では工夫をして対応しています。アレルギーのひどい子は大変な思いをしています。
委員①	自治体によって給食の中身が違います。もっと子育て世代にお金を掛けるのであれば、給食に掛けてはどうでしょうか。
委員②	子どもたちを遊ばせる場所や公園もないです。
委員③	寒川の市民会議に出ましたが、運動できる遊歩道、コミュニケーションが取れるベンチなどがある場所がほしいという意見が多かったです。
委員	増え続ける耕作放棄地対策でもあり、ますますこれから増える空き家対策となるものに、滞在型市民農園というものがあります。国がやっていますが、四国では香川県だけがしていません。定年後にお米などを作りたいという人、特に京阪

会 長	<p>神から人を呼び寄せると大きな成果があるのではないかと思います。移住希望を調べると、香川県は10位以内に入っていない。ところが、広島県や岡山県は10位以内に入っています。四国も頑張らなければいけないと思います。</p> <p>今日頂いた御意見、前回頂いた御意見を集約して、提言書案を作って、次の会議にお示しします。再度皆さんの御意見を頂いて修正を行い、市長へ提言したいと思います。たくさんの御意見ありがとうございました。</p> <p>以上で会議を終了します。</p>
閉会	